国立研究開発法人
国立成育医療研究センター理事長 殿
国立成育医療研究センター病院長 殿

国立成育医療研究センター
医療安全監査委員会
委員長　岡　　明

2026 年 7 月 13 日に実施しました、医療安全監査委員会の結果を別添のとおり報告します。

2026 年度第 1 回 医療安全監査委員会 監査報告書

国立成育医療研究センター医療安全監査委員会規程第7条第2項の規定に基づき、医療安全管理に係る業務の執行状況について監査を実施いたしました。その方法並びに結果について、以下の通りご報告いたします。

1. 監査方法及び監査項目

(1)監査方法

2025 年度の業務の執行状況について、担当部署からのヒアリング並びに関係書類の確認により実施した。

(2)監査項目

①前回委員会の提案・助言に対する回答
②医療安全管理部門の活動
③医薬品安全管理体制
④医療機器安全管理体制

2. 監査結果

①前回委員会の提案、助言に対する回答

前回委員会の提案・助言に対し、適切に対応されていることを確認した。

②医療安全管理部門の活動

以下の報告事項により、適切な管理を継続していることを確認した。

・医療安全管理委員会の報告事項、インシデントのレベル別の内訳、院内ラウンド等のリスクマネジメント部会の活動、医療安全研修実績について、規程に従い対応している。
・日本医療機能評価機構への報告対象の事案は法令に従い対応している。
・家族参画型の転倒・転落防止対策及び家族向け事故防止プログラムを開始している

③医薬品安全管理体制

以下の報告事項により、適切な管理を継続していることを確認した。

・注射剤の前監査システムによる運用拡大により、薬剤部で調製する場合は、全て前監査システムで認証を得てから調製することになった。
・医薬品の納品遅延や供給停止、供給不安に関する情報について、各診療科の使用状況を把握し、在庫確保や切替えの調整を行っている。
・過量処方が疑われる事例は、医療安全管理委員会で情報共有し注意喚起を行っている。
・入院サポート室の薬剤師の介入は、徐々に相談介入ケースが増加している。
・医薬品副作用被害救済制度等について、PMDA から講師を招聘し研修会を開催し、研

修会の録画を用いて、関係職員を対象に、eラーニングを実施した。
・引き続き、未承認薬・適応外医薬品のモニタリングを実施している。

④医療機器安全管理体制

以下の報告事項により、適切な管理を継続していることを確認した。
・医療機器の定期点検と修理は、未実施のものは点検していく。
・研修について、年2回、人工呼吸器の安全使用に関する研修に力を入れており、2026 年度も継続して研修を続けていく。
・不具合報告は、メーカーや関連機関及び PMDA など、多方面から情報収集している。該当する機器があった場合は、該当部署および医療安全管理部等へ情報共有している。
・発生したインシデントについて、病棟と検討した再発防止策を実施しており、勉強会は2026 年度も実施予定。

2025 年度の国立成育医療研究センター病院における医療安全管理業務は概ね適切に実施されている。なお、以下の点について検討すること。

1. 引き続き関係法令や指針等に基づき、適切に医療安全管理業務を遂行していくこと。

以上

2026 年 8 月 5 日

国立成育医療研究センター　医療安全監査委員会

委員長　　岡　明

委　員　　赤羽根　秀宜

委　員　　中村　治雅

委　員　　花井　十伍

委　員　　三牧　正和